

〔新規採用時 教育研究業績書記入例〕

教育研究業績書

(西暦)

2008年10月24日

氏名 神院太郎 印

教育上の能力に関する事項

事項	年月日	概要
1 教育方法の実践例	2007年 月 日 より現在	3週に一度、小テストを行い、学生の到達度を細かく確認している。 大学からの実習生受入の際には に留意している。
2 作成した教科書、教材	2004年 月 日	
3 実務の経験を有する者についての特記事項	2008年 月から 現在 2007年 月から 現在	病院において 大学より年間 名の 臨床実習を受け入れる。 病院において 大学より年間 名の 臨床実習を受け入れる。
4 その他		なし

職務上の実績に関する事項

事項	年月日	概要
1 資格, 免許 理学療法士	2006年 月 日	免許番号( )
2 特許等		なし
3 実務の経験を有する者についての特記事項		
4 その他		なし

研究業績等に関する事項

著書, 学術論文等の名称	単著, 共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概要
(著書)				
1	単著	2005年5月	社	
2	共著	2007年8月	社	

：				( P.10 ~ P.12 ) ( 共同執筆者 ) 、 <u>神院太郎</u> 、
( 学術論文 ) 1 ：	共著	2008 年 8 月	大法学論集第 10 号	共同研究につき本人担当分抽出不可
( その他 ) 1 2 ：				

## 新規採用時教育研究業績書記入要領 (西暦で作成してください)

1. この書類は、担当予定授業科目に関連する教育上の能力に関する事項、職務上の実績に関する事項及び研究業績等に関する事項〔主要な著書、学術論文等(発行又は発表が予定されているものを含む。)]について記入してください。

### 2. [氏名]の欄について

「氏名」は、戸籍のとおり正確に記入し、必ずふりがなをつけてください。なお、日本以外の国籍のみを有する場合は、外国人登録証明書〔外国人登録前の場合は旅券(パスポート)]のとおり記入してください。

旧姓等の通称名を使用している場合は( )書きで通称名を併記してください。

### 3. [教育上の能力に関する事項]の欄について

教育方法の実践例について

- ・優れた教育方法の実践例、マルチメディア機器を活用した授業方法、学生の授業外における学習促進のための取り組み、講義内容のweb上での公開 等

作成した教科書、教材について

- ・作成した教科書、教材、講義で教科書として使用している著書、教材等の(後の「著書、学術論文」との重複も可。その場合、「(再掲)」と表示)

実務の経験を有する者についての特記事項

- ・大学から受け入れた実習生に対する指導歴(看護・福祉実習、企業実習等)
- ・企業内教育、大学公開講座、社会教育講座の講師としての講義概要
- ・その他、所属機関や関係機関等において行った講義、講習、職員・関係者等に対する指導、海外等における留学、調査研究経験等を広く記載してください。

その他(1から4に該当するもの以外の事項について幅広く記入してください。)

- ・大学教育改善に関する団体等での活動の概要
  - ・教育実績に対する受賞歴 等
- 上記にとらわれず、積極的に記載してください。

#### 4 . [ 職務上の実績に関する事項 ] の欄について

##### 資格、免許

医師、歯科医師、薬剤師、教員等の資格で担当する授業科目に関連すると思われるものについて記載してください。

##### 特許等

本人の担当する教育内容等に関連した事項について記載してください。

##### 実務の経験を有する者についての特記事項

実務経験の記載方法については、「職歴」欄に記載した事項を中心に、担当する授業科目に対応した下記の事項等を参考に記載してください。

- ・従事した期間
- ・職務の内容（どのような職歴について、どのような役割を果たしたか）
- ・成果、結果

##### 企業、官公庁等の研究者の場合

開発した新製品・製法、作物等の新品種などの概要

大学との共同研究による研究実績がある場合、その概要、成果、当該研究者の役割

その他、企業・団体等関係者

国際援助・開発、先端技術、国際金融等高度に専門的な実務に従事した実績

##### 情報技術者関係の場合

コンピュータに係る職務歴（職務上のコンピュータ活用法、ソフト・システム開発歴）

##### マスコミ関係者の場合

執筆した記事の概要

作成した番組の概要

##### 医師や看護師等医療技術者の場合

症例研究会での発表等の活動

##### 福祉その他社会的活動の関係者の場合

参加した活動や団体の名称、活動内容・期間、本人の当該活動における地位

##### スポーツ等実技関係者の場合

指導者としての経歴・実績・資格

##### 芸術関係者の場合

作品の概要

##### 博物館、美術館等関係者の場合

担当した展覧会の概要

執筆・監修した展覧会図録の概要

その他全般を通じて

##### その他

から に該当するもの以外の事項について幅広く記載してください。

#### 5 . [ 研究業績等に関する事項 ] の欄について

研究業績等は、重要と思われる研究業績すべてを記入してください。（発行・発表が予定のものも含む。）

「著書、学術論文等の名称」の項については、研究等に関連する業績を「(著書)」、「(学術論文)」及び「(その他)」の項目に適切に区分し、各業績を発表順（過去 現在）に通し番号を付して記入してください。

- ・著書については、書名を記入してください。
- ・学術論文については、国際学術雑誌、学会機関誌、研究報告等に学術論文として発表したものの題名を記入してください。学位論文については、その旨を明記してください。
- ・その他については、総説、学会抄録、依頼原稿等にあつては当該記事のタイトルを、報告発表、座談会、討論等にあつては当該テーマを記入してください。

「単著・共著」の項には、当該著書等に記載された著作者が単独である場合には「単著」、著作者が複数いる場合には、監修、編集、編著、共著、部分執筆等の関わり方によらず「共著」と記入してください。

「発行又は発表の年月」の項には、当該著書等の発行又は発表の年月を記入してください。

「発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称」の項について

- ・著書については、発行所を記入してください。
- ・学術論文等については、発表雑誌等の名称、巻・号、掲載ページ等を明記してください。
- ・報告発表等の場合には学会大会名、開催場所等を明記してください。

「概要」の項について

- ・当該著書等の概要については4、5行以内にまとめて簡潔に記入してください。
- ・当該著書等が共著の場合には、本人の担当部分の章、節、題名、掲載ページ（p ~ p ）等を記入するとともに、本人の氏名（二重線を付すこと。）を含め著作者全員の氏名を当該著書等に記載された順（例：編者 、分担執筆者 、 x x x x ）に記入してください。また、本人の担当部分の抽出に困難があるときは、その理由を記入してください。なお、筆頭論文である場合は、その旨明記してください。
- ・当該著書等が共著の場合本人の担当したところの概要を記載してください。なお、概要・共同執筆者氏名・本人担当の概要すべてを10行以内にまとめてください。